

大雪山・旭岳&十勝岳&富良野岳山行報告

【山行日】2022年 7月 9(土)~12(火)

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー&飛行機&レンタカー105,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬 安西、石澤、福島

7月9日(土) 羽田空港から旭川空港に飛び、レンタカーで旭岳 RW まで行き旭岳に登る。

岩舟支所 5:00=つばさ P6:20/6:30=羽田空港 6:45/7:45→旭川空港 9:30/9:50=ニッポンレンタカー
10:00/10:20=旭岳 RW 山麓駅 10:50/11:20+++姿見駅 11:30/11:40~八合目 12:40/13:00~遊歩道~
姿見駅 14:20/14:40+++旭岳 RW 山麓駅 14:50/15:10=民宿「とだて」16:40

北海道の山に登りたいというリクエストがあり、大雪山と十勝岳、富良野岳の3座を計画した。



当初の計画は、2日目に大雪山を黒岳~旭岳まで縦走する予定だったが、2日目の天気が悪い予報なので急遽初日に旭岳に登る計画に変更した。前日、タクシーとレンタカー予約を変更し、何とか初日に旭岳に登る準備が間に合った。いつも利用するつばさパーキングに車を預け、バスで羽田空港の出発ロビーまで送ってもらう。羽田空港を定刻に出発し、旭川

空港に定刻より少し遅れて到着した。荷物を受け取ったら直ぐにレンタカーの送迎車に乗り、旭川空港営業所でレンタカーを借りる。車で旭岳ロープウェイ山麓駅に向かい、RW山麓駅の駐車場に車を止め出発の準備を整える。11時20分発のRWに乗り、姿見駅から旭岳に向かって出発する。空は晴れているが旭岳はガスが掛かり、6合目からは見えなかった。姿見駅から姿見



ノ池まで真っ直ぐ登り、分岐を直進して旭岳に向かって登る。登山道脇にはチングルマやエゾノツガザクラ、アオノツガザクラ、メアカンキンバイ等々の花が出迎えてくれたが、姿見ノ池からは火山礫の登山道で花はほとんど見られない。歩きにくい火山礫の登山道を登り、高度が上がるにつれ風が強くなりガスも濃くなり視界が無くなる。時折陽射しが出ると視界が開け、地獄谷から姿見駅まで展望が得られる。晴れたり曇ったり目まぐるしく変わり、6合目あたりは雨粒を感じるようになり衣服が濡れる。

晴れると暑くなり衣服が乾くが、ガスが掛かるとメガネが曇り衣服も濡れる。7合目まで登ると風が



増々強くなり、山頂から下りて来た方に聞くと「山頂は風がもっと強く雨も降っています。」との事。皆さんに相談すると、うっすらと見えている8合目までは登りたいというのでさらに登って行く。8合目標識まで登り、記念写真を撮ったら急いで下山開始する。服が濡れたが6合目まで下ると晴れていて、遅い昼食を食べながら衣服を乾かす。

姿見ノ池分岐から遊歩道を反時計回りに進み、姿見ノ池や地獄谷展望所などの見どころを見

学する。遊歩道は旭岳への登山道と違い、チングルマやエゾコザクラ、エゾツガザクラ、イソツツジ等々の高山植物が群生しまさに雲上のパラダイスである。雄大な自然と高山植物の群落を満喫し、山頂には登れなかったが大満足の旭岳である。

RW姿見駅まで戻りロープウェイに乗って山麓駅に降り、車に乗って層雲峡温泉の民宿「とだて」に向かった。途中、コンビニに寄って明日の朝食と昼食を買い、民宿「とだて」に着く。

宿泊受付をして宿のシステム説明を受け、男女に分かれて部屋に案内される。「とだて」は素泊まりの民宿だが、温泉の「黒岳の湯」が隣接し割引券で入浴できる。民宿内に食堂があり、お金を払えば好きなメニューをオーダーできる。今日は層雲峡温泉のお祭りで食堂が混



むというので、各自好きな物をオーダーし7時に予約する。全員で黒岳の湯に行き、温泉から上がったら7時に食堂に集合する予定。男性2人は20分前に温泉から上がり、フライングで飲み始める。女性達も7時までに集合し、全員集合でお酒と夕食をいただいた。天気予報では明日もあまり良くない予報だが、とりあえず予定通り5:30分に宿を出て黒岳にのぼることにする。部屋に戻ったら明日の準備をして、早めに床に就いた。

7月10日(日) 銀泉台から赤岳登山コースを駒草平までピストンで登り、層雲峡の銀河の滝&流星の滝を見学し、青い池を散策して白金温泉観光ホテルへ

「とだて」6:00 = 銀泉台 P6:30/7:00 ~ 駒草平
8:30/8:50 ~ 銀泉台 P10:30/10:40 = 層雲峡
11:00/11:50 = 青の池 14:40/15:20 =
白金観光ホテル 15:30

朝4時に起き、すぐに窓を開けて空模様を見ると天気予報通り雨が降っていた。



昨夜皆に予定通り6時出発と伝えたが、雨の様子を見て少し遅らせることにした。談話室で朝食を



食べながら、今日の天気は山頂や稜線歩きは風雨が強くNGだねと話した。昨日予定していた旭山動物園に行くかという、あまり良い返事が無く雨でも歩きたい様子。A西さんから提案があった銀泉台から駒草平までのコースを検討し、道路状況や駐車場など調べ行くことにする。そうと決まれば出かけるのは早い方が良いので、当初予定通り6時に宿を出発する。国道39号線を層雲峡方面へ進み、大雪ダムから国道273号線に入ると直ぐに銀泉台への道がある。大雪山観

光道路と呼ぶそうだが、紅葉時季の9月1日～30日まで通行規制があるようだ。ダートな道をおよそ15分程走ると駐車場があり、その奥に管理棟とトイレが整備されている。支度をして管理棟で入山届を書き、トイレとストレッチを済ませて出発する。最初は林道を緩やかに登り、赤岳登山口の標識から本格的な登山道を登って行く。ウコンウツギの黄色い花が出迎えてくれ、空も明るく周りの景色も良く見えた。ウコンウツギやエゾコザクラ、イソツツジなどの花に癒されながら登り、最初の雪渓をトラバースする箇所に着くと団体が通過に苦戦していた。20名以上の超初心者の登山ツアーで、通過にしばらく待たされた。待つ間に雨が落ちて来て、レインウェアの上衣を着る。雪渓を越えると雨脚が強くなり、傘を差して登って行く。雪渓や雪田をいくつか越えると第一花苑、さらに登ると第二花苑とお花畑が続くが、まだ雪が残っていて花は少ない。



さらに登って大きな雪田を越えるとベンチがあり、ここから駒草平が始まる。先の団体が休憩中で、我々はその先に進むと名前の通りコマクサが沢山咲いていた。チングルマやイワブクロ、珍しいキ



バナシオガマ等が見られまさに雲上の楽園である。花を楽しんだらベンチまで戻り、ミカンやおやつを食べるが雨が強くなり急いで下山する。下山は往路を戻るが、こんな雨の中でも次々と登山者が登ってくる。驚いたことに子供たち10名ほど連れた団体が登って来た。地元の子供会の行事で登るらしく、大人の方達が雪にステップを付け歩き易くしてくれた。下るにつれ雨は弱くなってきて、林道に出るとほとんど止んでいた。登山口に着き汚れた登山靴を洗い、管理棟で下

山報告を記入する。トイレを済ませ靴を履き替え、着替えたら車に乗り層雲峡に向かう。

層雲峡駐車場に着くと晴れてきたが、念のため傘を持って見学する。遊歩道を歩いて銀河の滝を見



学し、双瀑展望台へ向かって急な山道を登って行く。15分程で中腹の展望台に着き、銀河の滝と流星の滝を同時に見ることが出来た。さらに上の展望台に向かって登り、こちらの方が高いので2つの滝がさらに良く望める。滝を見物したら下に降りて、売店でメロンを食べることにする。タ張メロンと富良野メロンがあり、どちらが良いか聞くと全員タ張メロンとの返事。タ張メロンを食べていたら売店の主人が富良野メロンをサービスに1切れくれた。皆で1口ずつ食べて味比べ

したら、断然タ張メロンが美味しいとの事。メロンを食べたら白金温泉に向かい、途中の食堂で昼食を食べ美瑛の超有名スポット「青い池」に寄った。大きな駐車場に車が沢山止まっていて、大勢の観光客で賑わっていた。数年前はまだ青い池が出来たばかりで、駐車場も未舗装の広場に止めたが、今は立派な駐車場が整備され通路も整備されていた。順路に従って歩いて行くが、大勢の観光客に押されるように歩いて行く。青く澄んだ池の水はとても綺麗で、初めての皆さんは喜んでスマホに撮っていた。数年前は池の中に立っていた木々が緑の葉をつけていたが、今回は木々が枯れていて景色が変わって見えた。ここから宿までは車で数分で着き、フロントで受付を済ませ部屋に落ち着く。濡れたレインウエアや帽子、登山靴を部屋の中に干し、荷物を片付けたら温泉に入る、広い湯船にのんびり浸かって疲れを取り、明日の十勝岳に向けて鋭気を養う。温泉から上がると反省会が始まり、ビールで乾杯し賑やかに会話が弾む。夕食の時間になりレストランへ移動し、美味しいお料理を肴にお酒をいただく。夕食が済んだら部屋に戻り、明日の山行に備え早めに床に就いた。



7月11日(月) 望岳台から十勝岳にピストンで登り、下山後富良野の富田ファームに行きラベンダー畑を散策し、ラベンダーソフトや美味しいメロンをいただく。

白金観光ホテル 5:00 = 望岳台登山口
P5:20/5:40 ~ 避難小屋 10:20 ~ 昭和噴火口
8:30 ~ 十勝岳 9:40/10:00 ~ 昭和噴火口
11:00/11:40 ~ 避難小屋 12:30/12:40 ~
望岳台登山口 P13:20/13:30 =

富田ファーム 14:00/15:00 = 稜雲閣 15:40

朝4時に起きたら直ぐにフロントに行き、朝食の弁当を受け取り皆さんへ配る。お茶を沸か



して弁当を食べ、窓の外を眺めると青空が広がり美瑛岳や十勝岳がくっきりと見えていた。ヤッター



と喜んだが、天気予報では昼過ぎから雨の予報になっている。それでも晴れて山頂が見えるのは初めてなので、思わず心がウキウキする。我輩の「鍵が見つからない」騒動があり、皆さんをお騒がせしたが一件落着しホテルを出発する。登山口の望岳台に着くと、青空に噴煙がたなびく十勝岳が見え「あれに登るんですね？」と笑顔が弾ける。靴を履き替えストレッチを行なったら出発し、石がゴロゴロした登山道を十勝岳に向かって登って行く。吹上温泉からの道と合流し、

急坂を登って美瑛岳への道を左に分けると十勝岳避難小屋に着く。休憩し十勝岳を見上げると、ガスに包まれて山頂部は見えなくなっていた。この先で涸れ沢を渡り、ガレた急坂を登るがガスで周りの景色が見えなくなる。火山礫の急傾斜をしばらく登ると広い尾根に出て、広く平坦な尾根に付けられた道をペンキマークを頼りに歩いて行く。視界が良い日であれば、十勝岳や噴火口、黒い火山礫の山を見ながら自由に歩ける場所だが、視界が無いので登山道を外さぬように注意しながら歩く。やがて急傾斜のガレた岩場を登るようになり、頑張って登り切ると十勝岳山頂に着く。コースタイム通りに登れ、A西さんが「有難うございます」と手を伸ばしガッチリ握手して感動を分かち合う。

山頂での記念写真を撮ったら岩に腰を下ろし、ご褒美のミカンをいただいた。少し薄日が差してきたので、晴れるのを期待して待つが山頂からの大展望は得られなかった。下山開始し往路のガレた岩場を慎重に下って行く。広い尾根まで下ると奇跡が起こった。ガスが晴れて視界が開け、いくつもの噴火口や、たおやかな火山礫の山が見えたのである。雄大な十勝岳の全容を見ることが出来、皆さ



ん嬉しそうにスマホに景色を納めていた。遮るもののない礫地を歩くのは実に爽快で、活火山の山容を堪能しながら下る。皆さんが「お腹が空いた」と言うので、この景色を見ながらランチタイムとし、適当な岩に腰を下ろしパンやおにぎりをいただく。雄大な火山の風景を見ながら食べるランチは、パンとお茶だけでも格別に美味しく感じた。ルンルン気分で行っていると、急に雨が落ちて来てレインウェアを着て急ぎ足で下る。



避難小屋までたどり着き、雨宿りして雨が止むのを待つ。

10分程待つと雨が小降りになり下山開始し、途中から雨が止み望岳台に着く頃には晴れてきた。



予定より早く下山出来たので、ご褒美に富良野の富田ファームへ行くことにした。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、富田ファームへと向かった。富田ファームへ着いて驚いた。以前来た時と違い、駐車場がいくつも整備され、カフェや売店も沢山あり観光客で溢れていた。ラベンダーやポピーの畑も山の斜面側だけだったが、下の平坦地にも沢山のお花畑が広がっていた。まずはお花畑を散策し、途中でラベンダーソフトをいただいた。さらにアイ

スコヒーを飲みたいというので、カフェでアイスコーヒーを飲んで寛ぐ。その後山の斜面のラベンダー畑を登り、一周して駐車場に戻り宿に向かう。来た道に戻り、十勝温泉の一番奥にある稜雲閣が今宵の宿である。受付を済ませ部屋に行くと大きな部屋で、真ん中に広いリビングがあり、両側にダブルベットが2つ備わった部屋がある。女性達は右側の部屋で男性達は左側の部屋にする。K澤さんがリビングのソファに寝るということで落ち着いた。濡れたレインウェアや登山靴を干したら温泉に浸かり、のんびりと今日の疲れを癒した。温泉から上がると反省会が始まり、リビングのテーブルは最後の晚餐にうってつけの場所である。ビールとお酒が進み大いに盛り上がった。夕食の時間になり、1階の食堂に移動し美味しい夕食をいただいた。



夕食が済んだら部屋に戻り、明日の富良野岳山行に備えて早めに床に就いた。

7月12日(火) 十勝温泉登山口から富良野岳にピストンで登り、下山後千歳空港から羽田空港に向かい岩舟支所に帰着する。



稜雲閣 5:00～上木口分岐 6:00/6:10～富良野岳分岐 7:30～富良野岳 8:20/8:40～富良野岳分岐 9:20～上木口分岐 10:00/～稜雲閣 11:00/12:00
＝ニッポンレンタカー 15:30/15:50＝千歳空港 16:00/17:35→羽田空港 19:40/20:10＝つばさ PK20:40＝岩舟支所 22:25

朝3時30分に起きて朝食弁当をもらい、リビングのテーブルでいただいた。出発の準備を整えたら外に出て、ストレッチを済ませて5時に出発する。宿からすぐに登山口があり、登山届を提出する。最初は林道をしばらく歩き、安政火口手前から登山道になり急坂を下る。

下り切って荒涼たる安政火口を見ながらヌツカクシ富良野川を渡り、登り返してしばらく行くと上ホロ



分岐に出る。分岐を右に進み、三峰山の山腹をトラバース気味に登って行く。ウコンウツギやマルバシモツケの花を見ながら登り、小さなお花畑にはエゾコザクラやエゾキンバイ等が見られ疲れを癒してくれる。高度が上がるにしたがってガスが出て来て、風も強くなりメガネに水滴が付き見えにくくなる。稜線に出ると上ホロカメットク山への縦走路分岐になり、我々は右に富良野岳に登るコースを進む。ここから山頂への登路は急斜面が続くが、登山道の両

側がお花畑でエゾハクサンイチゲやチングルマ、エゾツガザクラやアオノツガザクラ等々に次々と出会え楽しい登りだ。お花畑に癒されながら登り、花の百名山富良野岳山頂に着く。山頂からは上ホロカメットク山や十勝岳、その先のトムラウシ山の絶景が見られるが、あいにくのガスで何も見る事が出来なかった。記念写真を撮ったらおやつを食べ、薄日が差してきたのでしばらく待つが視界は得られなかった。下山開始し往路を下って行き、幾分ガスが晴れてお花畑が良く見えるようになる。花を楽しみながらゆっくり下り、登りでは見えなかった花々が見られた。今日はレインウエアのお世話にならず下山出来、稜雲閣に無事到着できた。温泉で汗を流し昼食も食べる予定だったが、昼食は今日は出来ないとのこと。仕方なく温泉に入って汗を流し、荷物を纏めたら車に乗り千歳空港へ向かう。富良野市街で食事処を探すが見当たらない。



山部町で小さな店を見つけて入ると、ご飯はないがうどんと蕎麦なら出来るという。皆さんハラペコなので、天ぷらうどんと天ぷら蕎麦をオーダーした。おばちゃん一人で作るの少々時間が掛かったが、揚げたての天ぷらが美味しかった。メロンが1切れ400円なので、全員食べたとしても美味しかった。サービスで茹でトウモロコシをいただき、食べたとしても美味しく大満足のランチであった。国道38号線から237号線进行、占冠ICから道東道通って千歳東ICで降りニッ

ポンレンタカーで車を返却する。千歳空港に着いたらお土産の買い物をし、予定通り千歳空港を発出来た。ところが羽田空港上空に積乱雲が発達し、着陸許可が下りず20分遅れて到着した。つばさパーキングまで移動し、愛車に乗り換えて岩舟支所に向かう。

首都高から雨が降り出し、東北道に入るとドシャ降りの雨になった。蓮田SAで夕食を食べる予定だったが大雨で寄れず、その先の羽生PAも凄まじい雨でそのまま佐野に向かった。館林を過ぎたころから少し雨が収まり、佐野SAのETC出口で出て裏側の駐車場から佐野SAIに入り夕食を食べた。この夜は埼玉県で観測史上最大の雨量を観測し、高速道を走るのが怖いくらい雨が降っていた。何とか無事に岩舟支所に到着し、楽しかった4日間の北海道山行が終了した。